

図書室より「新着図書」のお知らせ



第168回 芥川賞受賞

『この世の喜びよ』 井戸川射子

思い出すことは、世界に出会い直すこと。幼い娘たちとよく一緒に過ごしたショッピングセンター。喪服売り場で働く「あなた」は、フードコートの常連の少女と知り合う。言葉にならない感情を呼び覚ましていく表題作をはじめとした作品集。

『荒地の家族』 佐藤厚志

あの災厄から十年余り、男はその地を彷徨いつづけた。元の生活に戻りたいと人が言う時の「元」とはいつの時点か。40歳の植木職人・坂井祐治は、あの災厄の二年後に妻を病気で喪い、仕事道具もさらわれ苦しい日々を過ごす。地元の友人もくすぶった境遇には変わらない。誰もが何かを失い、元の生活には決して戻らない。

第168回 直木賞受賞

第13回 山田風太郎賞受賞

『地図と拳』 小川哲

「君は満洲という白紙の地図に、夢を書き込む」
日本からの密偵に帯同し、通訳として満洲に渡った細川。ロシアの鉄道網拡大のために派遣された神父クラスニコフ。叔父にだまされ不毛の土地へと移住した孫悟空。地図に描かれた存在しない島を探し、海を渡った須野…。奉天の東にある〈李家鎮〉へと呼び寄せられた男たち。「燃える土」をめぐり、殺戮の半世紀を生きる。ひとつの都市が現われ、そして消えた。

『しろがねの葉』 千早菡

戦国末期、シルバーラッシュに沸く石見銀山。天才山師・喜兵衛に拾われた少女ウメは、銀山の知識と秘められた鉱脈のありかを授けられ、女だてらに坑道で働き出す。しかし徳川の支配強化により喜兵衛は意気阻喪し、庇護者を失ったウメは、欲望と死の影渦巻く世界にひとり投げ出された一。繰り返し訪れる愛する者との別れ、それでも彼女は運命に抗い続ける。